



上風連中

令和7年6月30日 校長 北見 将嗣

思考～よく考え、行動する生徒
健康～強い身体と意志をもつ生徒
友愛～助け合い、みがきあう生徒
勤労～進んで働く生徒
礼儀～礼儀正しい生徒

「働く」とは

「働く」とは一般的に自分の時間や体力を使って仕事をし、その対価として収入を得ることを指します。人が「働く」最も基本的な理由として、「生活に必要なお金を稼ぐため」があげられると思います。屋根のある家で暮らす、衣服を買う、毎日食事をする、携帯電話の支払いをする、本を買う、映画を観る、子どもの学費を払う、人として生きていくためにはお金がかかるものです。では、一生働かなくても生活ができるほどのお金があれば人は働かないかと言えば、決してそんなことはないと思います。世界の資産家であるイーロン・マスクやビル・ゲイツは今でも働いています。わかりやすいところと言えば、メジャーリーグで1番稼いでいる大谷翔平だって、バリバリ働いているわけです。

では、なぜ人は「働く」のか？「働く」ということは「生計を立てるため」という側面のほかに、「社会貢献」や「自己実現」、「生きがい」といった側面があるからです。仕事を通して誰かの役に立っていると実感したり、自分の能力を活かして成長を実感できることは、「働く」上ではとても重要な要素となります。テレビなんかで飲食店の方がお客さんから「おいしかった」とか「ありがとう」と言われた時が何よりも嬉しいと言っているのを見たことがあると思います。働くとはまさにこういうことだと思うのです。

先日、3年生が修学旅行の際におこなった上級学校訪問の発表会がありました。3年生はそれぞれ、興味のある職業へ進むための専門学校を訪問し、実際に体験させてもらったことや、質問をしたことをパワーポイントを使って発表してくれました。発表を聞いた1、2年生の中には紹介された職業に対して、「自分もやってみたい」と興味を持つ生徒もいました。体験した3年生はもちろん、発表を聞いた1、2年生も「働く」ことに対しての視野を広めることができるのが、この発表会の狙いでもあります。

中学生の時期は実際に「働く」までの準備期間と言えます。夢があるならそれに向かって直向きに努力すればいいし、今は夢がなくても色々なことに挑戦することで視野を広げればいいのです。

以前紹介した別海町が推進している「ジュニア・ハロー・ワーク」は中学生の「働く」を応援する取り組みです。興味があれば挑戦して、視野を広げるのもいいかもしれませんね。

7月の行事予定

日	曜	行 事
1	火	全校朝会
2	水	委員会
3	木	フッ化物洗口 ALT
4	金	プール開き 教育委員訪問 中体連壮行式（羽球・卓球）
5	土	地区中体連羽球大会・卓球大会
6	日	地区中体連羽球大会 英検 2 次
7	月	
8	火	太鼓④⑤ 白鳥号
9	水	
10	木	ALT 水泳授業①
11	金	IT/福祉症検査 代表委員会
12	土	全日本ジュニア釧根予選羽球
13	日	卓球カデット予選
14	月	研修日
15	火	委員会 水泳授業②
16	水	麦屋節・影絵⑥⑦ 職員会議
17	木	新聞の日 フッ化物洗口 ALT 大掃除プロジェクト①
18	金	水泳授業③ 大掃除プロジェクト②
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	麦屋節・影絵⑧⑨ 大掃除プロジェクト③
23	水	大掃除プロジェクト④
24	木	1 学期終業式
25	金	夏季休業 ～8/20
26	土	
27	日	
28	月	ビブリオバトル
29	火	
30	水	
31	木	

第19回小中合同運動会 6月7日

今年度は中学校のグラウンドを会場にし、1日日程で行われました。前日は多くの保護者の参加のもと、会場準備をしていただきました。そのおかげか、当日は青空のもと、絶好の運動会日和となり、児童生徒はもちろん、たくさんの保護者、地域の方々にも競技に参加して頂き、大いに盛り上がりました。

上風連の地域の温かさを感じる素敵な運動会となりました。今後もこのよき伝統が続くことを願っています。



「いじめアンケート」について

6月に1回目のいじめアンケートを実施しました。認知件数は0件でしたが、全教職員がいじめ見逃しゼロという意識をもち、未然防止・早期発見・早期対応のため、以下のように取り組みを進めます。

・教育相談

4月には学級担任と、6月の前期中間テスト後には教科担任と面談を行います。

・体験活動の推進

「小中合同運動会」「自主的な生徒会企画の実施」「地域行事への参加」「全校給食、委員会活動や清掃活動などの異学年交流」を通して、互いに尊重し、認め合い、励まし合う温かい集団づくりに取り組みます。

・生徒理解のための職員研修

生徒理解のためのアセスを7月におこない、全職員で指導の共通理解を図ります。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを講師として研修を実施し実践的指導力の向上を図ります。

暑い日が続きます。保護者の皆様におかれましては、お忙しい時期だと思いますが、体調を崩さないようご自愛ください。